

## 緑推出前講座 川嶋直氏を迎えて 活動報告

作成：清水環 2013年 2月13日(水)

1. 開催場所： まなびの森
2. 開催日： 平成25年2月5日(火)～2月6日(水) 天候：晴れ
3. 講師： (財)キープ協会川嶋直氏 緑化推進機構の出前講座
4. 参加者： 蒲田、岡島、松永、桜井、瀧口(朱)、瀧口(邦)、大石、林、高崎、清水、上林、谷崎、川根(順不同、敬称略)

2日間にわたり、主に3つのテーマでご指導いただきました。

### テーマ1. 「森林環境教育」

キーポイントは、教え込むのではなく、語り過ぎず、自然体験を中心として「感性」を大事にしなければならないこと、自然と人、人と人、自分自身との・・・コミュニケーションをとれるよう導くこと、でした。

森林の風の現場に直に立って考えた方が具体的なアイデアが出る、ということで、東芝の森へ移動しました。

講師の川嶋さんが活動してきた山梨県にあるキープ協会のフィールドは、広葉樹が中心なので、人工林におけるファシリテイトは珍しいようで、それでも、ふだんのアイデアを惜しみなく披露してくださり、「人工林ではこう、応用できるのではないか」などみんなで一緒に考える場となりました。

これまでの森林環境教育の機会では、言葉で伝えることについては難しさを感じてきており、体験、工作が中心でした。今後は「伝えたいテーマ」をまず決めて「感じてもらう」プログラムを増やしていきそれをライブラリとして管理していけばいいのだな、と学びました。

### テーマ2. 「人材確保」

活動内容によって、確保したい人材も変わるのだと認識できました。

・森林の風の2005年以来の活動の根幹である森林施業を続けていくのには、50代は若手！であり、定年に向けて少しずつ参加して勉強してもらい、60代でどっぷり施業・活動参加！してもらおう。

・森林環境教育や森林に携わる若い人を育てることも大事だから、大きなイベント、小さなイベントを通じ、私たち森林の風が持っている技術を見せる(魅せる)機会や、体験する場を積極的に作ったり、他団体との交流をしたりして、知ってもらおう。

などの意見が出ました。

### テーマ3. 「コミュニケーションの技術」

コミュニケーションは相手への想像が大事。一方的に伝えるのではなくキャッチボールのように対話する。



東芝の森 右:施業前 左施業後  
光りと影、風の具合を感じる

